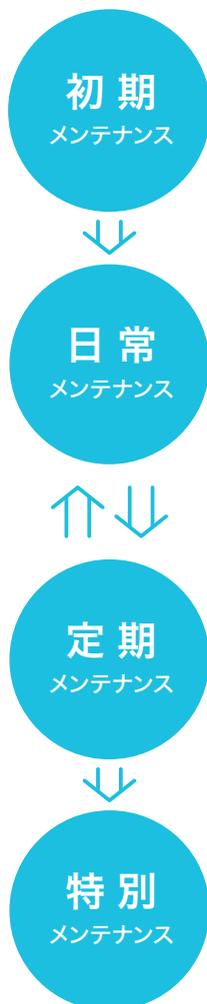


## 一般的なビニル系床材のメンテナンス

### 一般品

床材を長く美しくご使用いただくためには適切なメンテナンスが必要です。  
歩行量や汚れの段階に応じた計画的なメンテナンスにより、床材の耐用年数を延ばすことができます。



### 使用前

- 引渡し前に付着した汚れを清掃、洗浄し、ワックスを塗布します。  
※接着剤の完全硬化までは洗浄作業を行わないでください。

### 毎日 予防清掃

- 床材上の土砂が歩行で引きずられることで、ワックスや床材に傷が入ります。出入口へのフロアマットの設置により土砂の持ち込みと拡散を防ぎます。マットはこまめに除塵、交換してください。

### 毎日 日常清掃

- ダスタークロスや掃除機でチリや埃を除去した後に、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- ヒールマークなどの落ちにくい汚れは、水または洗浄剤を含ませたモップやウエスなどで拭き取ってください。
- 状況に応じ自動床洗浄機などで洗浄を行ってください。

### 1～3ヶ月に1回

- 日常清掃では除去できない堆積した汚れをポリッシャーや自動床洗浄機を使って洗浄します。
- 洗浄後、ワックスを1～2回塗布し新しい皮膜を形成します。

### 1～2年に1回

- 定期メンテナンスで汚れが取りきれなくなったら行います。
- 剥離剤を用い、ポリッシャーでワックスを剥離します。
- 汚水回収後、自動床洗浄機やモップを使用し、水ですすぎを行います。
- 洗浄後、ワックスを2～3回塗布し新しい皮膜を形成します。

### 注意事項

- 床材やご使用用途・目的に応じた洗浄剤やワックス、剥離剤、パッドをお選びください。  
また、洗浄剤やワックス、剥離剤は製造元が推奨する使用方法を必ずご確認の上、ご使用ください。
- 床材とワックスとの密着性は商品によって異なります。各商品の推奨ワックスについては弊社営業担当者までお問い合わせください。
- ビニル床タイルの場合は目地から水、洗浄剤、ワックス、剥離剤がタイル裏面に入り込まないようにご注意ください。接着剤を無力化させ突き上げや反りなどの不具合が発生する恐れがあります。モップに染み込ませる量を調整するなどご注意ください。



## ワックスフリー ビニル系床材のメンテナンス

ワックスフリー  
単層シート

|         |       |
|---------|-------|
| オデオンPUR | グラニット |
| メガリット   |       |

ワックスフリー  
複層シート

|            |             |             |             |          |         |
|------------|-------------|-------------|-------------|----------|---------|
| ナーシングフロア   | ナーシングフロアV   | SKフロア       | メディウォーク     | ストロング    | ストロングEX |
| エスリューム・リアル | エスリューム ミスト  | エスリューム ルーミー | エスリューム ウィーブ |          |         |
| エスリューム カルド | エスリューム プレーン | エスリューム マーブル | 抗ウイルスマーブル   | 消臭レスリューム |         |

ワックスを使用しないメンテナンスが可能です。  
施設利用者や運営者はもちろん、環境にも負荷が少ない理想的な床材です。



### 使用前

- 引渡し前に付着した汚れを清掃、洗浄します。  
※接着剤の完全硬化までは洗浄作業を行わないでください。

ワックスフリー  
単層シート

- ポリッシャー(磨き用パッド)で洗い磨きをしてください。  
※洗い磨きをすることで汚れを落とすだけでなく、床材表面の平滑性が増し汚れにくくなりますので、日常メンテナンスが容易になります。

### 毎日 予防清掃

- 床材上の土砂が歩行で引きずられることで、床材に傷が入ります。出入り口へのフロアマットの設置により土砂の持ち込みと拡散を防ぎます。マットはこまめに除塵、交換してください。

### 毎日 日常清掃

- ダスタークロスや掃除機でチリや埃を除去した後、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- ヒールマークなどの落ちにくい汚れは、水または洗浄剤を含ませたモップやウエスなどで拭き取ってください。
- 状況に応じ自動床洗浄機などで洗浄を行ってください。

ワックスフリー  
単層シート

- 傷が目立つようになってきたら、自動床洗浄機で洗い磨きをしてください。目安は歩行量の多い場所で週1回から2週間に1回程度です。

ワックスフリー  
複層シート

- 光沢や汚れの状況に応じてワックスメンテナンスに切り替えてください。
- ワックスメンテナンスへの切り替え後は、一般的な長尺シートと同じメンテナンスとなります。

### 注意事項

- 床材やご使用用途・目的に応じた洗浄剤やワックス、剥離剤、パッドをお選びください。  
また、洗浄剤やワックス、剥離剤は製造元が推奨する使用方法を必ずご確認ください。
- 床材とワックスとの密着性は商品によって異なります。各商品の推奨ワックスについては弊社営業担当者までお問い合わせください。

永久  
機能再生

### ワックスフリー機能が再生する単層シート

オデオンPUR・グラニット・メガリットは粒子のたいへん細かい素材を使用しているため、表面に凹凸が少なく汚れや薬品が入り込みにくくなっています。  
使用中の摩耗により表面に凹凸が生じても、自動床洗浄機での洗浄やバフingによって表面を滑らかに整えることで、ワックスフリー機能が再生します。



## 初期 メンテナンス

ビニル床材の施工直後は、初期の汚れを防止することが大切です。床材施工後はキズがつかないように、必ず養生を行ってください。土足での通行を禁止し、接着剤が完全に乾燥・硬化するまで十分な養生期間を取った後に、初期メンテナンスを行います。

### 手順

#### 一般品

ワックスフリー  
単層シート

ワックスフリー  
複層シート

- 1 接着剤が完全に硬化していることを確認してください。
- 2 ダスタークロスや掃除機などで床面を掃除し、チリや埃を除去してください。
- 3 接着剤やヒールマークなどの汚れは、床材の表面を傷つけないようにスクレイパーやハンドパッドで取り除き、水または洗浄剤を含ませたモップやウエスなどで拭きとってください。

#### 一般品

- 4 希釈した洗浄剤を床面にモップで塗布し、ポリッシャーで洗浄して汚れを取り除き、スqueegeeなどで汚水を迅速に回収・除去してください。洗浄剤で取れにくい汚れはアルコールなどで除去します。その後モップなどで水拭きし、汚れを含んだ洗浄剤成分を完全に除去し、乾燥させてください。

※ビニル床タイルの場合は水や洗浄剤がタイル目地に入り込まないように注意してください。

- 5 乾燥後、樹脂ワックスを用いて仕上げを行います。この際、ビニル床タイルの場合は洗浄作業と同様、ワックスがタイル目地から浸入しないようにモップに染み込ませる量を調整するなど注意してください。塗布回数は歩行頻度やご使用用途によりますが、2～3回を推奨します。

※初期メンテナンスの際、洗浄不足や乾燥不足によりワックスをはじいてしまう等、密着不良を起こすことがあります。初期の洗浄をしっかりと行い、ビニル床材と密着性の良いワックスを選定することが大切です。

- 6 塗布が終わったら十分に乾燥させます。完全に乾燥するまで通行を禁止してください。

ワックスフリー  
単層シート

- 4 施設使用前にポリッシャー（磨き用パッド）で洗い磨きをしてください。その後モップなどで水拭きし、汚れを含んだ洗浄剤成分を完全に除去し、乾燥させてください。

※洗い磨きは汚れを落とすだけでなく床材表面の平滑性が増し、汚れにくくなるので、日常メンテナンスが容易になります。

ワックスフリー  
複層シート

- 4 希釈した洗浄剤を床面にモップで塗布し、ポリッシャーで洗浄して汚れを取り除き、スqueegeeなどで汚水を迅速に回収・除去してください。洗浄剤で取れにくい汚れはアルコールなどで除去します。その後モップなどで水拭きし、汚れを含んだ洗浄剤成分を完全に除去し、乾燥させてください。

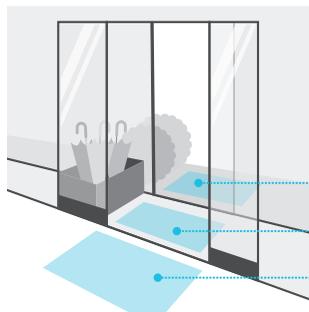
※洗浄で使用する水や洗浄剤の量が少ないと、床面に不具合を発生させる恐れがありますのでご注意ください。

## 日常 メンテナンス

### 予防清掃

日常メンテナンスのポイントは、「**汚れる前に予防清掃をする**」ことです。施設内の汚れの80%は外から運び込まれます。靴底に付着した泥・砂などが施設内に持ち込まれ、汚れが拡散します。このため、施設まわりの日常清掃も大切です。エントランスには以下の**3段階のマット設置が汚れの持ち込み防止に効果を発揮**します。

### 手順



#### 一般品

ワックスフリー  
単層シート

ワックスフリー  
複層シート

- 1 まず玄関の外に雨・風耐型用のマットを置き、外からの泥・砂などをふるい落とします。
- 2 次に風除室内に雨の日の水分まで吸着するマットを敷きます。
- 3 最後に施設内に汚れ・埃・水分吸着用マットを敷きます。

来訪者が施設内に入るまでに、外からの泥・砂を自然に歩いて落とすには、**約6mの除塵スペース**が必要であると言われています。なるべく広範囲にわたってフロアマットを設置することが、施設内部への汚れの持ち込みを防ぎます。

※マットが汚れて泥・砂が飽和状態のまま放置すると逆にマットの汚れが内部に入ってきますので、マットは常に清掃してください。毎日のバキュームと月1回の水洗いをおすすめします。

## 日常 メンテナンス

### 日常清掃

日常清掃では、**汚れがひどくなる前に汚れの原因を取り除く**ことが長期にわたる美観維持につながります。

### 手順

#### 一般品

ワックスフリー  
単層シート

ワックスフリー  
複層シート

- ①ダスタークロスや掃除機でチリや埃を除去した後に、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。雨天時はエントランス付近を重点的に行ってください。
- ②落ちにくい汚れは、水または洗剤を含ませたモップやウエスなどで拭き取ってください。洗剤でも落ちない汚れは、アルコールなどで除去してください。また洗剤やアルコールを使用した場合は、必ず水拭きをしてください。
- ③状況に応じ希釈した洗剤を床面にモップで塗布し、ポリッシャーで洗浄して汚れを取り除き、スキージーなどで汚水を迅速に回収・除去してください。その後モップなどで水拭きし、汚れを含んだ洗剤成分を完全に除去し乾燥させてください。

※広い面積での作業には自動床洗浄機を使用いただくと効率的です。※ビニル床タイルの場合は水や洗剤がタイル目地に入り込まないように注意してください。

ワックスフリー  
単層シート

※傷が目立つようになってきたら、自動床洗浄機で洗い磨きをしてください。目安は歩行量の多い場所で週1回から2週間に1回程度です。

洗い磨きが終わったらモップなどで水拭きし、汚れを含んだ洗剤成分を完全に除去し、乾燥させてください。  
※洗い磨きは汚れを落とすだけでなく床材表面の平滑性が増し、汚れにくくします。

ワックスフリー  
複層シート

※光沢や汚れの状況に応じてワックスメンテナンスに切り替えてください。

※ワックスメンテナンスへの切り替え後は、一般的なビニル系床材と同じメンテナンスとなります。

※ポリッシャーや自動床洗浄機が入らないコーナー部や壁際は、水または洗剤をつけ固く絞ったモップで清掃してください。使用後は洗剤をモップなどで水拭きをし、汚れを含んだ洗剤成分を完全に除去し、乾燥させてください。

※洗浄で使用する水や洗剤の量が少ないと、床面に不具合を発生させる恐れがありますのでご注意ください。 ※床材の状況に応じたパッドをお選びください。

## 定期 メンテナンス

日常メンテナンスでは除去できない汚れが堆積してきたら、**定期メンテナンス**を行ってください。

### 手順

#### 一般品

- ①ダスタークロスや掃除機などで床面を掃除し、チリや埃を除去してください。
- ②希釈した洗剤を床面にモップで塗布し、ポリッシャーで洗浄して汚れを取り除き、スキージーなどで汚水を迅速に回収・除去してください。更にきれいな水で床面を水拭きし乾燥させます。この際にビニル床タイルの場合は水や洗剤がタイル目地に入り込まないように注意してください。
- ③むらなく均一にワックスを床面に塗布します。この際にビニル床タイルの場合は洗浄作業と同様、ワックスがタイル目地から浸入しないようにモップに染み込ませる量を調整するなど注意してください。
- ④乾燥したら2回目の塗布を行います。摩耗や歩行量の多い部分は同様に乾燥させた後に3回目の塗布を行います。
- ⑤塗布が終わったら十分に乾燥させます。完全に乾燥するまで通行を禁止してください。

## 特別 メンテナンス

汚れがワックスの内部に及んだり、塗膜が黄変や粉化した場合に**ワックスの剥離と再塗布作業**を行います。

### 手順

#### 一般品

- ①ダスタークロスや掃除機などで床面を掃除し、チリや埃を除去してください。
- ②ワックスの面積に応じてモップで剥離剤をムラなく塗布し、剥離剤が十分浸透してからポリッシャーなどで完全に剥離させます。  
この際にビニル床タイルの場合は剥離剤がタイル目地から浸入しないように、モップに染み込ませる量を調整するなど注意してください。
- ③汚水はスキージーなどで回収・除去してください。床面が乾かないうちにきれいな水で水拭きし、乾燥させます。
- ④床面の乾燥を確認した後に、ワックスの塗布を行います。以下作業は定期メンテナンス③～⑤と同じです。

### 注意事項

- 床材やご使用用途・目的に応じた洗剤やワックス、剥離剤、パッドをお選びください。また、洗剤やワックス、剥離剤は製造元が推奨する使用方法を必ずご確認ください。
- 床材とワックスとの密着性は商品によって異なります。各商品の推奨ワックスについては弊社営業担当者までお問い合わせください。
- ビニル床タイルの場合は目地から水、洗剤、ワックス、剥離剤がタイル裏面に入り込まないようにご注意ください。接着剤を無力化させ突き上げや反りなどの不具合が発生する恐れがあります。モップに染み込ませる量を調整するなどご注意ください。